

事務事業名		水質検査事務				評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	1 地域の特色を活かした快適なまちづくり				担当組織	担当部	水道局	担当課	工務課
	政策	2 住みやすい快適なまちづくり				担当係	給水係	担当課長名	大澤信夫	
	施策	4 安全で安定した水の供給と生活排水の適正処理				新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	1 安全で安心な水の安定供給				実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名				
		水道事業								
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	年度～	年度	根拠法令 条例等	水道法第20条				
						市単独事業・国県補助事業		市単独事業		
						任意的事業・義務的事業		義務的事業		
						実施方法		一部委託		
						事業分類		検査・調査事務		
						リーディングプロジェクト		該当なし		
						市長マニフェスト		該当なし		

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)

事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)		平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)						
本事業は、水道法に基づき、水質検査計画を策定し、同法第20条に基づく検査を適時実施する。実施方法は、指定検査機関に委託し行う。 ・採水場所:水道局所管の原水62箇所、浄水23箇所、合計85箇所 ・検査項目:水質基準項目(50項目・9項目)、水質管理目標設定項目(4項目)等、クリプトスポリジウム指標菌、クリプトスポリジウム原虫検査、個人宅水質検査委託27人 平成25年度より、原水に関する水質基準項目、水質管理目標設定項目、クリプトスポリジウム指標菌、クリプトスポリジウム原虫検査は、別事業で実施		4月～3月 個人宅水質検査(毎日) 4月～3月 水質基準項目(50項目:3か月毎、9項目:左以外の月年8回) 4月～3月 水質管理項目(4項目:年1回) 4月～3月 クリプトスポリジウム指標菌検査(月1回) 4月～3月 放射性物質検査(年4回)						
		活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)
		水質検査を実施した検体数	検体	387	374	374	374	374

② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)

① 原水(井戸の水)及び浄水(蛇口からの水) ② 給水区域内水道使用者		対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)
		水質検査を実施すべき全体件	検体	387	374	374	374	374
		給水人口	人	120,813	119,753	119,150	118,355	117,560

③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)

供給する水道水について、各水質基準に適合しているかを判定し、安全な飲料水であるように適切に管理する。		成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
		水質基準に適合した割合	%	100	100	100	100	100

④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)

安全な水の供給		上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
		水質基準値適合率	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
	国庫支出金	千円						
	県支出金	千円						
	地方債	千円						
	その他	千円						
	一般財源	千円	5,078	5,126	7,339	7,500	7,500	
	事業費計(A)	千円	5,078	5,126	7,339	7,500	7,500	
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			委託料	5,078	委託料	5,126	委託料	7,339
	人件費	人	2	2	2	2	2	
のべ業務時間	時間	64	64	64	64	64		
人件費計(B)	千円	249	252	252	252	252		
トータルコスト(A)+(B)	千円	5,327	5,378	7,591	7,752	7,752		

事務事業名	水質検査事務	担当部	水道局	担当課	工務課	担当係	給水係
-------	--------	-----	-----	-----	-----	-----	-----

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	水道水の安全な水質を維持管理するため、水道法に基づく水質基準が昭和32年に制定され、事業を開始した。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	H16. 4より水質基準が厳しくなり、水道水の安全の観点からすると、今後もより厳しくなると予想される。H23.3.11東日本大震災により、福島第1原子力発電所で放射線の漏洩事故が発生し、放射性物質の検査が必要となった。平成25年度より、水道施設の包括的業務委託が開始し、本事業で実施していた検査の一部が、受託者側で実施することになった。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	特になし。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	
	結びついている	理由・改善案 水質基準に適合しているかを判定することで、安全な飲料水を供給していることが確認でき、適切な管理を実施できるため、政策体系に結びつく。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	
	市が行わなければならない	理由・改善案 「水道法第6条2項により、水道事業は市町村が経営するものとする」とあり、このことから公共関与の妥当性が認められる。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	
	妥当である	理由・改善案 水道法第20条に、水道事業は厚生労働省の定めるところにより、定期及び臨時の水質検査を行わなければならないとあり、水質検査が義務付けられているため、対象と意図は妥当である。水質検査により、供給する水の安全を確認でき、給水区域内水道使用者を水質汚染事故から防止できる。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	
	成果向上余地がない	理由・改善案 水質検査の項目は、法で定められており、検査方法も厚生労働省の告示(平成十五年七月二十二日厚生労働省告示第二百六十一号)「水質基準に関する省令の規定に基づき厚生労働大臣が定める方法」で定められており、事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上することはできない。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	
	類似事務事業はない	理由・改善案 類似事務事業名
	* 類似事務事業があれば、名称を記入	
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	
	削減の余地はない	理由・改善案 水質検査業務は、業者委託で実施し、人件費としては、契約の締結に掛かる事務、採水時の同行、データの整理と限られ、本事業内で、コストは削減できない。25年度より、包括的な業務委託が開始するため、本業務の内容が変更となり、本事業費は、減少する。
公平性 評価	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	
	現在の受益者負担は適正である	理由・改善案 本事業は水道料金にて賄っており、その料金体系は、水道利用者には公平・公正な負担割合であり、改めて、適正化を行う余地はない。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)	
	本事業は、上水道事業が存続する間は、休止・廃止・事業終了とはならない。	

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																					
現状維持(従来通り実施)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。																						
* 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×	
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		○	×																			
	低下		×	×																			